



「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に関する
共同記者会見の開催及び実演について（お知らせ）

新潟市では国家戦略特区の指定を契機に、革新的技術を有する大手企業や農業ベンチャーと連携し、複数の実証プロジェクトを立ち上げるなど、国内最先端のスマート農業を積極的に進めてきました。

このたび、農林水産省の平成30年度第2次補正予算「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」において、本市の提案する2つの水田作の実証プロジェクトが事業採択され、それぞれの連携事業者とともにコンソーシアムを設立しました。（全国で69事業が採択）

プロジェクトの開始にあたり、連携事業者による共同記者会見を開催します。また、第1部では大規模圃場におけるスマート農機の実演を、第2部ではアグリノートを活用したデータ連携の実演を行いますので、是非取材いただきたくお願い申し上げます。

記

1 日時・会場・内容

＜第1部＞新潟市スマート農業複合経営モデル実証コンソーシアム

日時：令和元年5月29日（水）11：10～12：00（10：40受付開始）

会場：白銀カルチャー圃場（新潟市秋葉区内）別紙1 実演ほ場地図参照

内容：記者発表及び最新農機の実演（自動運転トラクタによる耕うんと直進アシスト
トラクタによる大豆播種の協調作業）、質疑応答

※荒天の場合は翌日に順延します

＜第2部＞スマート農業企業間連携実証コンソーシアム

日時：令和元年5月29日（水）15：00～16：00（14：30受付開始）

会場：新潟市南区役所 味方出張所 3階議場（新潟市南区味方1544）

内容：実証プロジェクトの概要説明及びデータ連携の実演、質疑応答

2 実証概要

別紙2 実証概要のとおり

3 取材申込

取材を希望される場合は、別紙3 取材申込書に必要事項を記載のうえ、5月27日（月）午後5時までに申し込みください。

4 お問合せ

新潟市 農林水産部 ニューフードバレー特区課

電話 025-226-1864（直通） 担当：横野、近

別紙1 実演ほ場地図



拡大図



別紙2 実証概要

コンソーシアム名	新潟市スマート農業複合経営モデル実証コンソーシアム	スマート農業企業間連携実証コンソーシアム
実証課題名	大規模水田輪作（水稲・大豆）における園芸作物（枝豆）導入に向けたスマート農業一貫体系の実証	農業データの一元管理によるスマート農業体系の実証
実証品目	水稲・大豆・枝豆	水稲
実証内容	<p>実用新技術（V溝直播、狭畦密播、密苗等）と国内最先端のスマート農業を一体的に組み合わせることで、「水稲」、「大豆」栽培における労働時間を大幅に削減するとともに、生まれた余剰人員で高収益作物である園芸作物（枝豆）の導入を図る。</p> 	<p>「データ連携」をメインテーマに、各企業が有する革新的技術（スマート農機・ドローン・人工衛星等）を駆使し、企業間におけるデータの互換性やサービスの相互連携を高め、農業分野におけるデータの連携基盤の構築を図る。</p> 
実証グループメンバー	<p>新潟市【代表機関】 農研機構中央農業研究センター 農研機構農村工学研究部門 新潟県農業総合研究所 新潟農業普及指導センター ㈱クボタ ㈱クボタアグリサービス ㈱新潟クボタ 積水化学工業㈱ ㈱NTTドコモ ㈱白銀カルチャー【生産者】 (計11社)</p>	<p>新潟市【代表機関】 新潟県農業総合研究所 新潟農業普及指導センター 井関農機㈱ ㈱中セキ関東甲信越 国際航業㈱ ㈱スカイマティクス ウォーターセル㈱ 有米八【生産者】 (計9社)</p>
実証期間	2019年4月1日～2021年3月31日（2カ年）	

※本実証課題は、農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト（課題番号：大D8、大D10）」（事業主体：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）の支援により実施します。

FAX 025-230-0423

新潟市 農林水産部 ニューフードバレー特区課 行き

「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に関する

共同記者会見の開催及び実演 取材申込書

お手数ですがご取材いただける場合は、下記に必要事項をご記入のうえ、

5月27日(月)午後5時までにFAXにてお申し込みください。

貴社名 : _____

御所属 : _____

御芳名 : _____

(スチールカメラ 台 / ムービーカメラ 台 合計 名) _____

T E L : _____

携帯(中止時の連絡用) : _____

<p><第1部> 5/29 11:10~12:00 最新農機の実演</p>	<p><第2部> 5/29 15:00~16:00 共同記者会見</p>

※希望する取材先に○印をご記入ください。